

木協通信

第28号
発行年月日
平成26年2月1日
日田市南友田100-1
日田木材協同組合
総務企画委員会発行
TEL24-2167

いと改めて思いました。

ました。また、木協に来ていただく皆様に明るく元気に挨拶することも大切なことです。小さなことから徹底し、皆様に愛される木協にした

★日田木材協同組合百年を語る
○明治維新に於ける日田林業と日田郡木竹商組合の誕生 (続き)

それらは結局は同業の取締りがなくなったからであると思われる。幸い昨十年は近年稀なることで、販売金額が20万円近くになったので同業者で協議の上、別紙のような取締規則を設けて今後一層盛大になるようにしたい。

しかし取締規則を設けても、思い思いでは実行出来ないで、材木商の免許鑑札を下さるようにし取締ってもらいたい。そうして一人前金10円宛税を納め、この税金で郡中各村内の狭隘の道路を修繕して下されれば人馬の通行の便利を得、運搬の失費も減じ、自分達の営業も大助かりで有難いことである。
次回続く

★木協初市

平成26年1月14日に、初市を行いました。取扱材積、一、四一二m³、取扱金額二、〇一七万円、平均単価一四、二九四円でした。12月の価格よりも、杉で一、〇〇〇円〜二、〇〇〇円、桧で三、〇〇〇円〜五、〇〇〇円値下がりしました。今年も、組合員皆様の多量の御出荷を宜しくお願い致します。



★人権学習会の開催

去る1月9日職員を対象に「明るい職場づくり」をテーマに人権問題啓発学習会を開催しました。講師は日田市人権研修講師の立花憲一さんをお願いして、みんなが明るく個人の可能性を最大限発揮できる職場づくりなどについて、話をさせていただきました。以前は叱咤激励で使っていた言葉が、今はパワハラになったりします。また、何気なく使っている言葉が他人を傷つけたりする可能性がありますので、この研修を機会にあらためて、言動には注意しようと思



★中国木材株式会社の新年互礼会に参加して

小関 明生

去る1月25日に福岡市において、中国木材株の新年互礼会が開催されたので参加しました。九州管内から約300名の方々が参加しており、日田市からは原木市場の関係者が参加していました。社長のあいさつとして次のとおりお話がありました。

平成25年は増税前の駆け込み需要で、中国木材の販売量は14万m³となり、19%の売り上げ増加となった。しかし、前回の消費税が導入された時も反動があったが、今回は20%程落ち込むと見込んでいた。近年の住宅様式を見ると軸組在来工法は伸びているので、スギの集成材を作り国産材に力を入れたいと考えている。国産材は今や国際商品となっており、円安の今は有利となっている。スギの大径材を利用して、大きなラミナーにより集成材を作る。

昨年は、国産材は欠品を起こしてしまっただ。お客さんの注文に応じられない商売は伸びないと思う。そこで、自分の山を持ってば材が必要なきは、伐って出せばよい。製材品にして乾燥しておけば、出荷調整は自在である。中国木材は将来日本一の山持ちになるよう山を購入して行こうと考えている。

★新しい日田の森林・林業・木材産業振興ビジョン策定に伴うワークショップ

1月28日市役所に於いて、新しい日田の森林・林業・木材産業振興ビジョン策定準備会が開催されました。話題提供者に、瀬戸理事長他5名のパネリストが出席され、日田林業再生への提言について意見を交わしました。



★お知らせ

◎木協本社メタセコイアの伐採

友田本社の製品倉庫横に立っているメタセコイアを伐採する事に決定致しました。外材の製材が日田で行われるようになり、記念に植栽されたもので、一部の山林にも植林された様です。現在、製品倉庫のトイに詰まったり、アスファルトを持ち上げ大変困っており、伐採する事を予定しております。



◎あなたの山の管理を

木協に委託しませんか

木協では、森林所有者に代わって、山の管理をお引き受ける事業を実施することになりました。その背景には、現在の所有者が高齢になり、山にいけないことや、跡を継ぐ方が多忙で山の管理まで手が出せないことなどがあります。このままにしておくと、境界さえ分からなくなることとも考えられます。そこで貴方に代わって木協が管理のお手伝いをいたします。※管理の内容は次のとおりです。

- ①境界にペンキ等で印しを付け、境界を明確にします。
 - ②年に1回程度森林を巡視し、森林の現状を確認します。(写真を撮影して報告します)
 - ③自然災害などの発生が考えられる場合は調査をします。(気象災害、病害虫などの発生時)
 - ④適切な施業などのアドバイスをします。(間伐などの山の手入れの指導)
 - ⑤その他管理に関して必要な事項
- 詳しくは、木協事務局へお問い合わせください。